

## 平和を願う

長崎県において、最も忘れてはいけない日の一つが今日、8月9日平和祈念の日です。原爆が投下されて77年。一瞬のうちに7万人余の尊い命が奪われ、また、この77年間、多くの人が苦しみや悲しみを背負って生きてこられました。私も小学校1年からずっと平和集会に参加し、教師になってからは原爆投下のみならず平和についての学習を深め、生徒にも指導を行ってきました。そのなかで印象に残っている言葉がありますので紹介します。

まず一つ目は「平和は空気みたいなもの。」という言葉。

人間にとって平和は無くってはならないものであり、それが無くなると一瞬のうちに命に関わる。日本は今、平和であり、平和が当たり前のように感じられている。このため、その有難さの感覚が麻痺してしまっているようです。

二つ目は「奪い合うから足りない。分け合えば余る。」という言葉。なぜ、戦争は起こるのか。領土問題であったり、食糧問題であったり、宗教上の問題であったり、権力闘争であったり・・・その要因は様々ですが、いずれにしても「戦争は奪い合い」であることは確かです。互いの命を奪う、自由を奪う、平和な毎日を奪う・・・。今、世界で一番注目されているのが、ロシア軍のウクライナへの侵攻。一体プーチン政権(ロシア軍)は何を奪おうとしているのでしょうか。奪うことで何が得られるのでしょうか。人を犠牲にしてまで、戦争をして何になるのでしょうか。

さて、皆さんは上の2つの言葉をどう感じたのでしょうか。今日は原爆の日。私達は日ごろから平和についてしっかり考え、守っていく必要がありますが、特に今日はその思いを強くする日だと思います。学校でも平和祈念集会を開きましたが、各ご家庭でも話題にあげ、互いの平和を守る意識を高めてほしいと思います。



## 折り返し

時が経つのは早いもので、もう夏休みも折り返しです。1学期末に立てた計画は守られているでしょうか。立てた目標に近づけたでしょうか。夏休みに入って、生徒の活動で一番目に入ったのが駅伝練習。朝7:30から約1時間、みっちり走り込んでいますが、その姿は立派。私も一緒にジョギングに取り組んでいますが、牛歩ほどのスピードしか出ず、情けないばかりです。彼らを見ていて「よく体力持つなあ〜」、「よく心が折れないなあ〜。」と感心しきりです。私は日ごろから先生方に「努力も手抜きも、最後は自分に返ってきますよね。」と話をしています。間違いなく、この駅伝練習は“心と体の糧”になっていると確信しています。誰の為でもない、自分のために懸命に頑張ること、これが大事なのです。さあ、折り返し地点を通過しました。夏休み後半に入ります。たっぷりある貴重な時間を有意義に使い、自分を更に高めて欲しいと思います。

